



都市モノレール建設事務所の仕事紹介

仕事の紹介

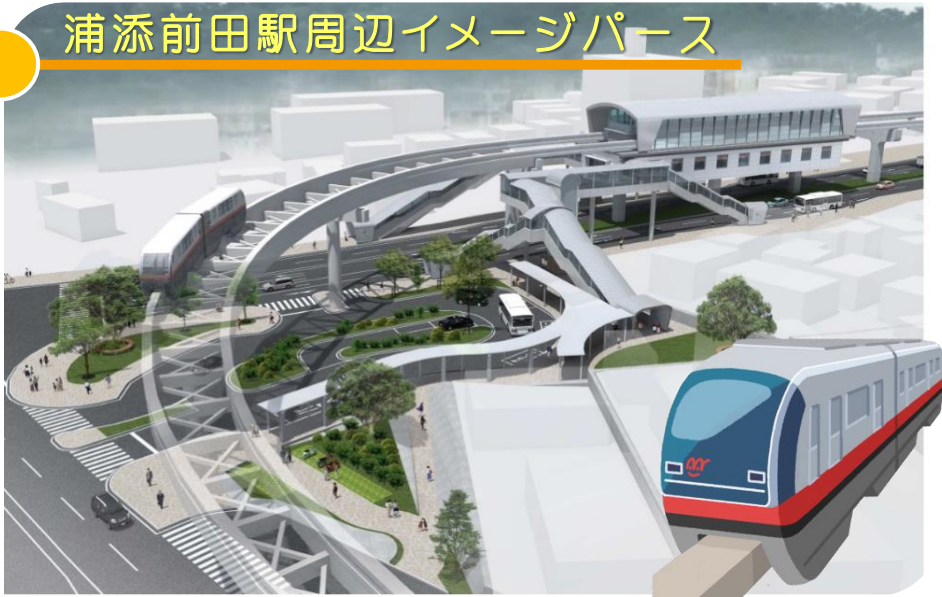
沖縄県土木建築部 都市計画課
都市モノレール建設事務所

「ゆいレール」の愛称で県内外に親しまれている沖縄都市モノレールは、現在の那覇空港～首里駅までの約12.9kmの路線を運行しており、本事務所では首里駅からだこ浦西駅（浦添市前田）の約4.1kmを延長する整備を進めております。H31年春の開業を目指し、『期間限定』のプロジェクト事業として、職員一同一致団結し、夢と希望を持って日々業務に取り組んでおります。

具体的な仕事内容として、①モノレールが走行するための桁や、それらを支える②支柱、モノレールに関連する道路拡幅・新設などの③道路整備、建築分野である駅舎の整備を行っております。職員が全部つくっているの？という疑問があるかと思いますが、土木は決して単独でつくる事ができません。そのため、建設コンサルタント会社や工事施工業者へ依頼（発注）を行い、私たちが沖縄県民の代表として設計から施工のすべてを指揮・監督をしております。このように大規模事業のモノづくりのスタート（設計）からゴール（構造物の完成・供用）のすべてに携わり、技術的な指導、進捗管理、問題解決に向け取り組んでおります。



浦添前田駅周辺イメージパース



Message

成果が形に残るこの仕事は、夢に溢れた魅力的な仕事だと感じています。こどもにも自慢でき、誇りをもって業務に取り組んでいます。

モノづくりは多くの技術者の手が加わり出来上っている事も忘れてはいけません。土木の分野は「経験工学」と言われていますが、その多くの先代技術者の『思い』を継承していくのも仕事だと考えています。

沖縄県の発展のために魅力ある仕事をしてみませんか？一緒に仕事ができる事を楽しみにしております。

若津 誠 徹
那覇国際高校 / 琉球大学卒

